

yamabuki 通信

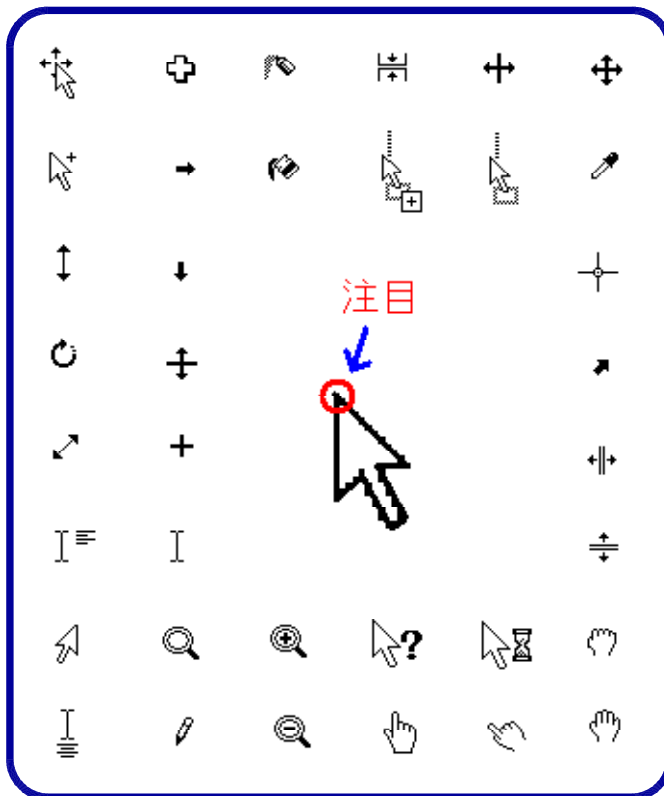
yamabuki は、『小学校でのパソコン授業』の URL より
パソコン室から 不定期 発行

No. 8

平成19年5月21日
情報教育アドバイザー
広田 さち子

マウスのカーソル（マウスポインタ）

マウスを動かすと、画面で白い矢印が動きます。この形は、時々変わりますね。



これらは、みな、よく見る形ですが、どんな場面で見ることができるか、ひとつひとつおわかりでしょうか。

この形が何を意味しているかという、その形の時にクリックやダブルクリック、ドラッグ、右クリックなどをしたときに、パソコンがどういう反応をするかの指標です。

逆に、何かをしようとしているときに、マウスの形を無視してしまうと、思わぬ結果を見ることとなります。

ここで重要なことは、人の目にはいろいろな形に見えるけれど、パソコンに見えるのはその形の中の1点だけ、ということです。中央に大きく描いているように、矢印の時は、先端のとがった点です。対象形の場合は

その中心、形の中に、矢印の先端のような特別の点があれば、その点だけです。

マウス操作をするときには、アイコンやメニューや色塗りの色など、目的の箇所、この特別な点を確実に合わせる事が大切です。そして、クリックやドラッグなどの操作を始めるときは、マウスの形状と位置をしっかりと確認して、マウスカーソルを一瞬止めることです。息を止めてみてください。もし、マウスカーソルを動かしながらマウスのボタン操作をすると、とんでもないことが起こるかも知れませんよ。速ければいい、というものではないのです。

授業でファイルを開くとき、時々「センサー！ ○年△組がありませーん！」ということがあります。これは、クラスのフォルダをクリックして開くつもりが、マウスが止まっていなかったためにドラッグになり、フォルダを隣や、極端な場合二つ隣のクラスに放り込んでしまったものです。

マウス操作には、十分気をつけましょう。